

主催 / 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀総合研究開発センター

共催 / 国立大学法人福井大学産学官連携本部協力会 原子力技術研究部会

# 第53回 敦総研 オープンセミナー

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構では、研究開発を通して創出した新技術を地域企業の皆様方に活用して頂くことや、原子力分野へ幅広く参入して頂くために、機構の技術などを紹介する取組みを行っています。今回のセミナーは国立大学法人福井大学産学官連携本部との共催で開催します。

## 敦賀会場

**11/29 (水) 14:00 ~ 16:00**

アクアトム 3階 プレゼンホール

〒914-0063 敦賀市神楽町 2丁目 2-4 TEL:0770-47-6821

## 福井会場

**11/30 (木) 14:00 ~ 16:00**

福井商工会議所ビル 2階 会議室 D

〒918-8580 福井市西木田 2丁目 8-1 TEL:0776-36-8111

## セミナー内容

### ■ 両面受光型太陽光発電システムと電力ネットワークとの連携

福井大学 学術研究院工学系部門 電気・電子工学講座 准教授 伊藤 雅一

温室効果ガス排出量の増加による気候変動問題緩和のため、再生可能エネルギーの導入が進められています。しかし、太陽光発電や風力発電は雲や風況によって出力が変動しますので、さらに多く導入するためには様々な課題を克服する必要があります。

ここでは、近年普及が進みつつある両面受光型太陽電池モジュールの発電量の向上効果や、電力ネットワークとの親和性など、最近の太陽光発電システムの状況についてご紹介します。

### ■ 化石 × 地形で古地震復元！

原子力機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 東濃地科学センター  
地層科学研究部 計画管理グループ 塚原 柚子

岩礁では、貝やフジツボといった磯の生物が数多く生息しています。このような場所で目線を少し上にあげて観察してみると、岩盤に磯の生物の化石が付着していることがあります。海面付近で生息していたはずの磯の生物が、化石となって海面よりも高い位置で発見されることには、地震による地面の動きが関係しています。

本セミナーでは、「化石」と「地形」をキーワードに、野外調査や年代測定を通し、過去の地震と地面の動きを解き明かした研究成果をご紹介します。

お問い合わせ

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

高速炉・新型炉研究開発部門 敦賀総合研究開発センター 拠点化推進室 成果普及促進グループ

☎ 0770-21-5033

☎ 0770-25-5782

✉ thq\_soudan@jaea.go.jp